

平成25年度事業報告及び 歳入歳出決算の概要

社会福祉施設特別会計



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

1. 平成25年度 事業計画における主要な取り組み

(1) 地域に密着した事業実施の推進

(2) ボランティアの参画による施設運営

(3) 健康な生活を営むための講習、地域防災の実施

(4) 将来に向けた施設整備計画の推進



(1) 地域に密着した事業実施の推進

ア 子どもの命と健康を守る

- ・子育て支援活動(施設開放、育児相談等)など、地域に貢献する活動を実施



育児体験「プレママサロン」
～母親体験講座で地域の子育てを支援～
(秋田赤十字乳児院)



育児サークル「ぷちぽけっと」
～地域の親子が参加、情報交換も～
(松江赤十字乳児院)

イ 地域との連携

- ・地元住民、自治会、学校等と連携した交流事業などを実施し、地域福祉活動を推進



「地域交流運動会」
～小学生をはじめ、地域のみなさんと～
(特別養護老人ホーム日赤鷺鳴荘)

「こども赤十字クリーン活動」
～赤十字奉仕団の方々と清掃活動～
(小樽保育所)

(2) ボランティアの参画による施設運営

ア. 職員とボランティアの協同運営を通じ、ボランティア活動の活性化を推進



美容ボランティアの力で笑顔に
(特別養護老人ホーム大寿園)



視覚障害者のスポーツ支援ボランティア
(神奈川県ライトセンター)

ボランティア活動者の推移(年間延人数)

(単位:人)

平成23年度	平成24年度	平成25年度
47,817	49,126	48,562

イ. 社会福祉事業推進会議・研修会の開催（本社）



～福祉課主催として初の
ボランティア参加型会議～

【目的】
ボランティア参画による
施設運営強化



全国の社会福祉施設の
職員・ボランティアが参加
ボランティアの募集や
コーディネートに関する
情報を共有化



各施設でボランティア活動の
更なる活性化へ

ウ. ボランティア紹介・募集の記事をホームページで公開



93歳の現役ボランティア(日赤安謝福祉複合施設)

ボランティア活動は
元気の源！
知り合いも
たくさんできて、
とても楽しいよ～！



高校生のボランティア(ひのみね総合療育センター)

ボランティア活動の
経験を通じて、
将来は
「医師」になろうと
決めました。

全施設のボランティアを
ホームページで紹介

(3) 健康な生活を営むための講習、地域防災の実施

- ・施設の特性を生かした講習普及活動
- ・地域連携防災活動

児童福祉施設

➡ 幼児安全法

老人福祉施設

➡ 救急法
健康生活支援講習



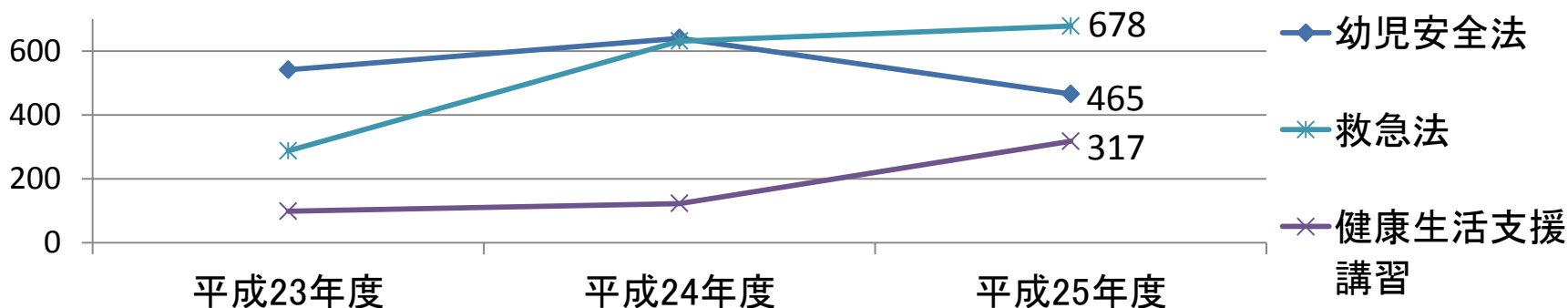
県内乳児院との合同幼児安全法講習
(日本赤十字社茨城県支部乳児院)



利用者、地域住民、近隣企業が
参加した炊出し訓練
(日赤安謝福祉複合施設)

【講習受講者数の推移(年間延人数)】

(単位:人)



(4) 将来に向けた施設整備計画の推進

ア 日赤岩手乳児院

- ・平成26年4月1日にリニューアルオープン
(盛岡赤十字病院の隣接地に移転新築)



～外観は白を基調としたシンプルなデザインに～

施設ではなく「住宅」のような外観を目指し、
また家庭的な雰囲気づくりをコンセプトに設計



～子どもたちの安全に配慮した木目調クッション床を整備～

イ 特別養護老人ホーム錦江園（鹿児島県）

- ・平成26年2月7日にリニューアルオープン
（国が推進するユニットケアに移行するため
全面改築を実施）



～建物内には地域交流スペースも設置～



特別養護老人ホーム錦江園

～「上空からの写真」
福祉・医療の両面から
入居者を支援～

鹿児島赤十字病院



～「屋上から見た錦江湾の風景」 桜島を望む～

自宅に近い環境を整え、その人らしい生活の実現へ



～共用リビングでの団らん～



～家庭的な雰囲気でのダイニング～

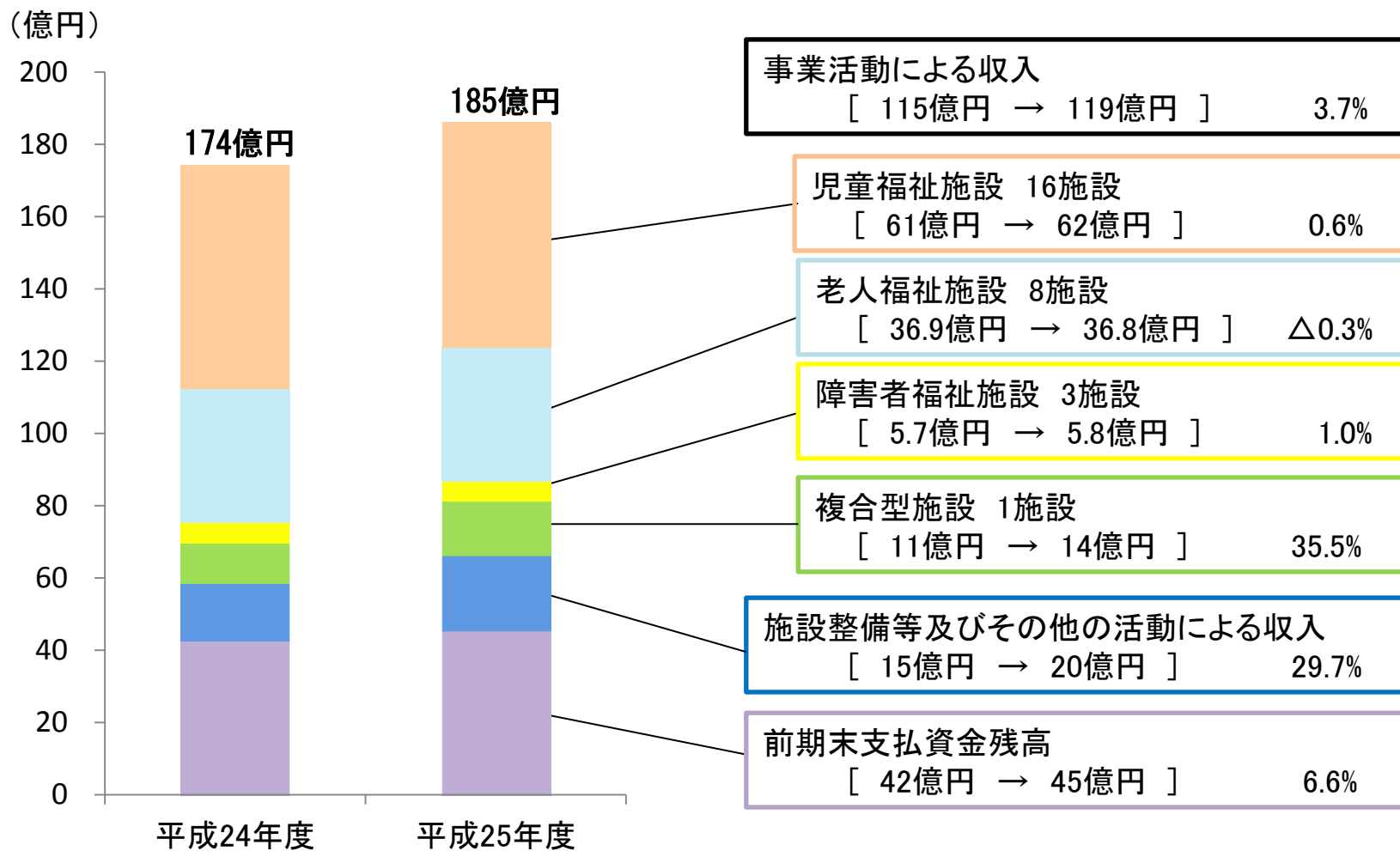


～プライバシーを尊重した個室型居室～



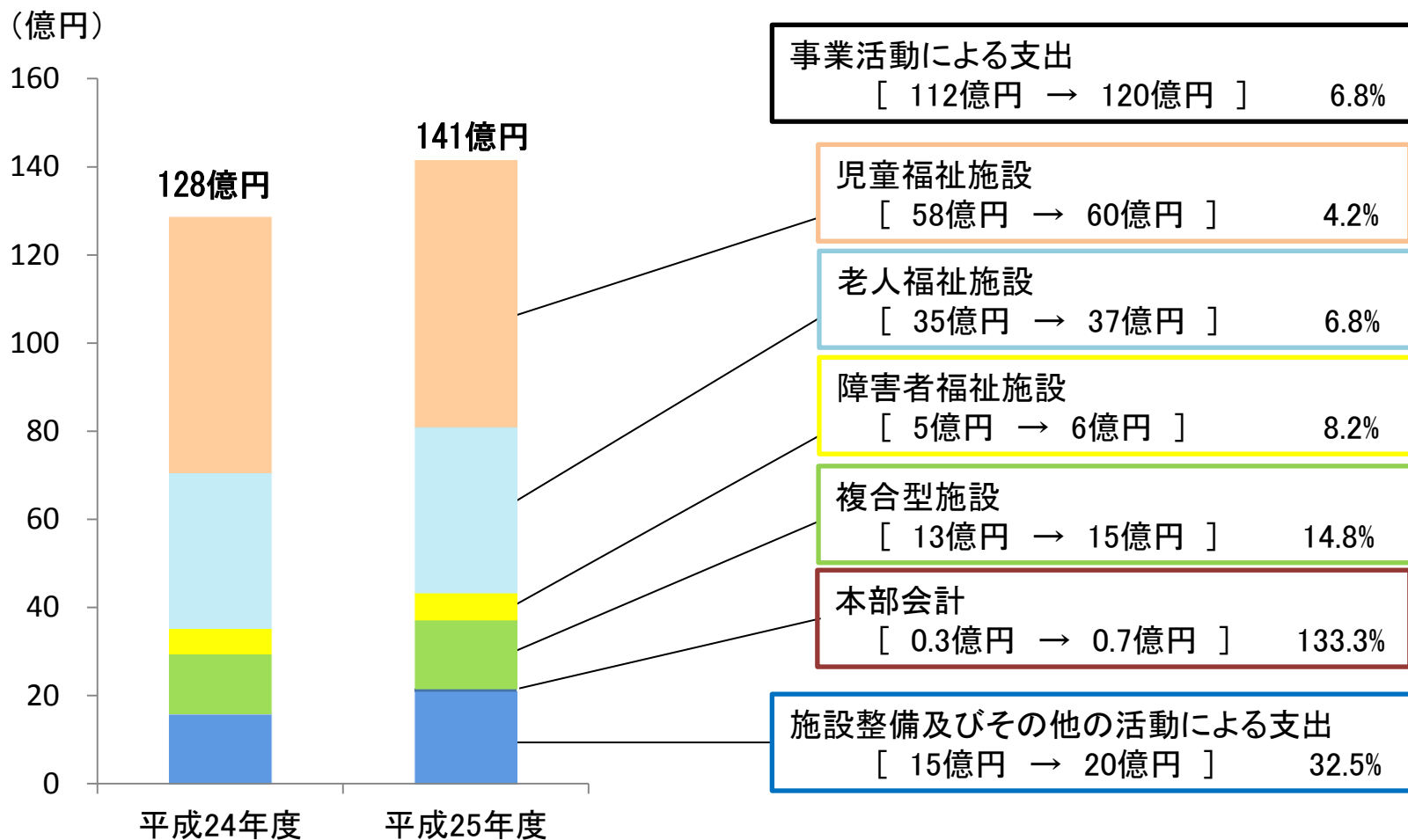
～青少年赤十字メンバーとの交流～

2. 社会福祉施設特別会計歳入決算のあらまし



	平成24年度	平成25年度	増減率
収入合計	174億円	185億円	6.7%

3. 社会福祉施設特別会計歳出決算のあらまし



	平成24年度	平成25年度	増減率
支出合計	128億円	→ 141億円	10.0%
収入支出差引額	45億円	→ 44億円	△2.4%